

インタラクティブ大学院教育 大学院生短期留学(国内) 報告書

理学研究科 高分子科学専攻 旧足立研究室 D3 小野 陽介

派遣先:九州大学大学院理学府凝縮系科学専攻

分散系物理化学(安中雅彦)研究室

派遣期間:2006.3.13 ~ 2006.3.16

本年度のインタラクティブ大学院教育の大学院生短期留学(国内)として、九州大学大学院理学府凝縮系科学専攻の安中雅彦先生の研究室に滞在させていただきました。安中先生は、高分子の構造形成と機能発現の原理の解明と生命の分子物理化学的理解を目指して研究を行われており、また、非平衡開放系のソフトマターの物性の研究にも取り組んでおられます。

今回の短期留学では、溶液中における高分子電解質の対イオンの電離度および、側鎖に双性イオン基を有する高分子と添加塩との相互作用について知見を得ることを目的とし、レーザードップラー法を用いた電気泳動光散乱測定を行わせていただきました。双性イオン型高分子の添加塩水溶液の電気泳動光散乱実験により、高分子と陰イオンの間に強い相互作用が働くことを示唆する結果を得ることができました。

滞在中には、私が修士課程在籍中に指導していただいた川崎英也先生(現関西大学工学部助教授)にもお会いすることができ、初日には、電気泳動光散乱法の原理や電気泳動光散乱法を高分子電解質水溶液に適用したときの一般例について、先生方と読み合わせをする機会を与えていただきました。また、研究室内の案内や、新たに導入された装置についての説明をしていただきました。

3日間という短い期間でしたが、許される限りの時間を使って測定を行うことができ、また、6年間過ごした九州大学を久々に訪れることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

最後になりましたが、このような機会を与えていただいたインタラクティブプログラム、また私達の滞在を受け入れお世話していただいた安中雅彦教授と安中研究室の皆様へ深く感謝いたします。